

「坂本少年野球部」が初栄冠で8代目王者に

「2013専修大学カップ 神奈川県童軟式野球選手権大会」の準決勝と決勝、表彰式・閉会式が8月12日、平塚球場で行われた。

準決勝を勝ち上がった坂本少年野球部（保土ヶ谷区代表）と川和シャークス（都筑区代表）による決勝戦は、7回裏には坂本少年野球部が3点を返し5対5の同点に。特別延長戦に入り、8回表に川和シャークスは2点を入れ再びリードしたが、8回裏には勢いに乗った坂本少年野球部が3点を返し、8対7で初勝利を飾った。優勝した坂本少年野球部新井剛監督は、「苦しい練習に耐え選手はよく頑張りました。優勝チームの誇りを持ってさらに精進してまいります。」と優勝の喜びを語った。3位は有馬こども会野球部（宮前区代表）と海老名イーグルス（海老名市代表）。

表彰式では、優勝チームに馬場経営学部長（大会会長代行）から賞状、優勝旗、優勝カップが、県少年野球連盟会長の鈴木一誠大会副会長から賞状、優勝盾が贈られ、栄誉を称えた。

県野球連盟が選ぶ優秀選手賞に坂本少年野球部の松浦樹選手（6年生）が、敢闘賞には、川和シャークスの栃木啓太選手（6年生）がそれぞれ選ばれ、県野球連盟から表彰された。入賞チームには、監督・コーチを含めた全員に記念のメダルが授与された。

馬場経営学部長は、「優勝された坂本少年野球部をはじめ各々のチームの皆さんは立派に戦われました。どの試合も白熱した戦いで紙一重でした。これからの日本を背負うのは君たちです。54チームの代表としてメダルを受け取ったという気持ちを胸に成長していきましょう。また、多くの関係者の皆さんに支えられて、大会を無事に終えられたことに感謝します」とあいさつ。

鈴木一誠大会副会長のあいさつの後、閉会した。

優勝チームは、8月23日にtvkの昼のワイド番組「ありがとッ！」に出演、喜びを語る。なお、大会の様子は、同25日19時00分よりtvkで2時間50分の特別番組として放送される。



▲熱戦が繰り広げられた平塚球場



▲優勝を喜ぶ選手たち



▲8代目王者に輝いた坂本少年野球部



▲馬場大会会長代行より優勝旗が贈られる



▲記念のメダルを授与